

## Contents

02-05 商品ものがたり  
**Coop's もっちりこもち**



▲今回お話を伺った、コープこうべ六甲アイランド食品工場の皆さん。  
 左から、企画管理部 三田雅人さん、植木嘉崇美さん、  
 和菓子・餅グループマネジャー 中本史雄さん、  
 副工場長 小林彰良さん

06-07 そうなんや！生協  
 みんなで考えよう、食品ロス問題

08-09 食とくらしの安全・安心  
 ・畝山さんに聞く！食の安全・安心  
 「健康食品、本当に安全？」  
 ・くらしの安全・安心  
 「子どものオンラインゲームの課金トラブル」

10-11 information/被災地の今

12 くみかつ！  
 夏休み親子食育企画  
 「カレーライスを作ろう」を開催しました

13-15 読者投稿コーナー ほっとTIME  
 16 四季彩ごはん



**もちのニョッキ風**



商品ものがたり

今年も、新米で作った  
**出来たてをお届けします**

▲冷却スペースは出来たての「もっちりこもち」で埋め尽くされています



**Coop's もっちりこもち**

宅配：12月5回取り扱い(500g・2kg)  
 店舗にて  
 12月26日～12月31日まで取り扱い  
 (500g・1kg・2kg) ※写真は2kgです

鏡もちや雑煮など、新年のお祝いに欠かせないのが「もち」。コープこうべの六甲アイランド食品工場では、クリスマスが終わるやいなや、年末恒例「Coop's<sup>®1</sup>もっちりこもち」の製造が始まります。

「もっちりこもち」は12月26日から31日の大みそかまでの6日間で約240t、480万個（2018年実績）が製造される、年末だけの限定商品。短期間の製造量としては日本一を誇ります。総勢約200人以上の職員とアルバイトが24時間体

制で「出来たてのおいしいもちを食べしてほしい」と頑張ります。その製造風景は毎年、地元テレビや新聞でも取り上げられています。

「お店で取り扱う1kgのこもちは、できたその日のうちに出荷して京都生協の店頭と並ぶので、まだ軟らかさが残ります。まさに「生こもち」です<sup>※2</sup>」と、コープこうべ六甲アイランド食品工場・企画管理部の植木嘉崇美さんは話します。

※1「coop's」は、コープこうべのプライベートブランド。2001年にデビューし、現在約2,000アイテムの商品を展開

※2 500g・2kgは製造日翌日の入荷・配達となります

## 1925年から続く こだわりの「もち作り」

コープこうべで年末の「もちつき」が行われるようになったのは、なんと今から94年前の1925年のことでした。前年の1924年、コープこうべの前身である神戸消費組合が、味噌としょうゆを醸造する食品工場を設立。「自分たちが本